

平成22年度予算 教育委員会 主要施策

教育委員会では、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に掲げた「思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ」という教育目標の実現を目指し、学校、家庭、地域の連携のもとで、未来を担う子どもの教育を充実させるための各種施策を総合的に推進していきます。

また、生涯を通じた「人づくり」や市民の「暮らしづくり」のため、「まちづくりを支える人材の育成」や「生活に根付いた文化の振興」を推進します。

平成22年度は、以下の主な施策を推進します。

思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

- 1 未来をひらく学校づくり支援事業
 - あいさつ運動推進事業
 - 学校における読書活動推進事業
 - 体力アップ推進事業
 - 提案型学校づくり推進事業

2 確かな学力の向上

3 中学校完全給食実施事業

4 特別支援教育の充実

学校・教職員の力を高める

5 小中連携による教育の推進

6 学校施設耐震補強事業

家庭の教育力を高める

7 未就学児の基本的な生活習慣の確立

地域の教育力を高める

8 スクールヘルパーの充実

生涯学習及び芸術・文化の充実

9 図書館の充実

教育委員会企画課
：582-2357
担当（久保山・青柳）

思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

1 新未来をひらく学校づくり支援事業 [111,600 千円]

「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」における重点取組み(あいさつ運動、読書活動、健康な体づくり)を推進するとともに、各学校が新教育プランに沿って独自に企画・提案する取組みに対し支援を行う。

【事業内容】

あいさつ運動推進の取組み

家庭や地域と連携して積極的にあいさつ運動に取り組んでいる学校の活動を支援するとともに、全市的な取組みとなるよう広報・啓発を行う。

学校における読書活動推進の取組み

7校の中学校(モデル校)に学校図書館嘱託職員を配置し、ブックヘルパーと連携しながら、校区内の小・中学校における読書活動を一層推進する。

学校図書館嘱託職員の配置：7名(7中学校区×1名)

体力アップ推進の取組み

北九州市キッズダンスによる体力アップの取組みを中学校に拡大するなど、子どもたちの体力アップの推進を図る。

提案型学校づくり推進の取組み

学校の実情や地域の特性を踏まえた特色ある教育を実践するため、各学校が独自に企画・提案する取組みに対して支援を行う。

2 確かな学力の向上 [41,380 千円]

新学習指導要領の全面実施に向けて、各学校で作成する教育課程の基盤となる「北九州スタンダードカリキュラム」や補助教材の作成・配布を行うとともに、学力向上を推進するための実践モデル校を10校指定するなど、本市全体の学力を高める取組みを推進する。

【事業内容】

北九州スタンダード推進事業

新学習指導要領を踏まえた「北九州スタンダードカリキュラム」の作成

音読音唱ブック「ひまわり」、「活用する力を高めるワーク」の活用推進

学力向上推進事業

モデル校における指導方法や教材等の実践研究

3 中学校完全給食実施事業 [2,217,000 千円] (他に債務負担1,782,000 千円)

平成21年度から段階的に実施している中学校完全給食に関し、平成23年4月の全校(62校)実施に向け、施設整備及び運営を行う。

【実施時期及び実施校数等】

時 期	平成21年4、9月	平成22年4月	平成22年9月	平成23年4月
校 数	11校	16校	9校	26校

4 特別支援教育の充実

(1) 新特別支援教育における相談支援体制の充実 [2,030 千円]

発達障害の児童生徒が学習する特別支援学級や通級指導教室への臨床心理士の派遣回数を増加し、担任に対する専門的支援や保護者に対する相談の充実を図る。

【事業内容】

配置予定人数：14名

(2) 新 特別支援学級補助講師の配置事業 [38,000 千円]

特別支援学級に市費講師を配置することにより、特別支援教育の充実を図る。

【事業内容】

配置予定人数：12名（小学校・中学校）

学校・教職員の力を高める

5 小中連携による教育の推進

(1) 新 小中連携による不登校等問題行動改善対策事業 [47,500 千円]

本市の不登校児童生徒数の逡減を図るため、いわゆる“中1ギャップ”の解消に重点を置いて、小学校と中学校の連携を推進するための市費講師を配置する。

【事業内容】

配置予定人数：15名（中学校）

(2) 新 小中一貫・連携教育モデル推進事業 [3,400 千円]

小学校で学んだことを中学校に円滑に接続していくため、モデル校区を5校区指定し、連続性のある教育を積極的に推進するとともに、本市の実態に即した小中一貫・連携教育のあり方の検討を行う。

【事業内容】

小中一貫・連携教育推進モデル校推進

実施予定校区数：5校区

小中一貫・連携教育のあり方検討会の開催

6 学校施設耐震補強事業 [1,452,700 千円]

学校施設に必要な耐震性能を確保するため、優先度の高い190校の耐震診断を平成22年度までに終え、診断の結果、Is値0.3未満の校舎等がある学校の耐震補強計画及び耐震補強工事を順次実施する。

【事業内容】

耐震診断：37校

補強計画：37校

実施設計：28校

補強工事：13校

家庭の教育力を高める

7 新 未就学児の基本的な生活習慣の確立 [2,000 千円]

未就学児の保護者に、小学校1年生までに身につけてもらいたい基本的な生活習慣などの情報提供を行うことで、家庭教育の重要性の認識を高めるとともに、小1プロブレム対策を推進する。

【事業内容】

家庭教育リーフレットの配布

地域の教育力を高める

8 スクールヘルパーの充実 [66,263 千円]

スクールヘルパーが現在携わっている活動に加え、学校図書館運営や学校支援地域本部で実施する環境ボランティア、教員サポートなどスクールヘルパーの活動範囲を拡大するとともに、その増員を図る。

【事業内容】

支援内容：安全対策、教育活動支援、特別支援、学校図書館運営支援、環境ボランティア

生涯学習及び芸術・文化の充実

9 図書館の充実

(1) 新市立図書館返却フリー事業 [4,400 千円]

市立図書館で借りた本をすべての市立図書館で返却できるシステムを構築し、市民の利便性向上を図る。

【事業内容】

図書館メール便を活用した返却フリー事業の導入

(2) 八幡西区の地区図書館整備 [162,000 千円]

(黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業)

八幡西区黒崎の「文化・交流拠点地区」での新たな図書館整備(平成24年夏オープン予定)にあわせて、貸し出しや閲覧用の図書資料を計画的に購入する。

【事業内容】

図書資料の購入